

あさくち 議会だより

No. 43

令和元年10月1日発行



令和元年 9月定例会

- 9月定例会 補正予算 ②
- 主な議案 ③
- 議案に対する賛否 ④
- 委員会レポート ④
- 視察研修レポート ⑤
- 一般質問 市政を問う！ ⑥

9月定例会は、8月27日から9月12日までの17日間の会期で行われました。

9月定例会

1億8,797万円を増額補正 令和元年度一般会計予算の総額は 151億5,802万円



埋め立てが進む天草池



幼児教育・保育の無償化

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費	移住・定住促進事業	移住・定住人口の拡大を図るための成人独身男女を対象とした体験型婚活イベント	16万円
民生費/教育費	幼児教育・保育の無償化	10月からの幼児教育・保育の無償化に対応するための関連経費	2,293万円
商工費	消費生活指導推進事業	高齢者を特殊詐欺等の被害から守るために、市内の65歳以上の方が被害防止機能の付いた固定電話を購入する費用に対する補助	15万円
土木費	本庁・支所改革プロジェクト事業	本庁・支所の機能の見直しの一環として、天草池の埋め立てにより駐車場を整備するため、埋め立て前に必要となる水路工事費	2,000万円

※ 1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、子ども・子育て支援臨時交付金6,288万円など。

主な議案

条例

○下水道事業の設置等に関する条例制定

【原案可決】
下水道事業に地方公営企業法の一部を適用するため、条例を制定するもの。

○印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

【原案可決】
住民基本台帳法施行令及び印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

【原案可決】
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部改正

【原案可決】
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による地方

公務員法の一部改正及び国からの技術的助言を受け、条例の一部を改正するもの。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【原案可決】
選挙従事者の報酬額の改正及び災害弔慰金支給審査委員会の会長等の報酬額を定めるもの。

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

【原案可決】
災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正

【原案可決】
子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、4条例の一部を一括して改正するもの。

○市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

【原案可決】
道路構造令の一部を改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

○給水条例の一部改正

【原案可決】
水道法等の改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○消防団条例の一部改正

【原案可決】
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の成立に伴い、条例の一部を改正するもの。

○特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

【原案可決】
市長、副市長、教育長の給料月額を10月から12月までの3か月間、10%削減するもの。

反対討論(要旨)

香取良勝議員
・職員の不祥事についての説明が不十分。なぜ刑事告訴するのかも、はっきりした答弁が無かった。何もかも隠そうとしていたのではないか。

・警察がきちっと対応した後にでも、給料の10%カットはできる。早くこれを終結させようとするのはおかしい。

人事

○人権擁護委員の推薦意見

【適任】
人権擁護委員に横田幸治氏を適任としました。

請願

○種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書

【不採択】
提出者 種子と食、農を守る岡山県協
議会 桑野和夫
紹介議員 桑野和夫

賛成討論(要旨)

沖原有美議員
・種子法が廃止され、行政の取り組みの後退や種子の高騰が懸念される。

・今までは都道府県が責任を持って種子の開発や増殖を行ってきた。安心できる食を守るためにも条例を制定すべきである。

・条例を根拠に予算付けや人員確保、体制の確立につなげることが必要である。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

〔○〕 賛成、〔×〕 賛成でない、〔-〕 不参加、〔欠〕 欠席

議案名		会派名		浅口朋進会						日本共産党 浅口市議員団		政和会		無会派					議決結果
		議員名	中西 美治	大西 洋平	伊澤 誠	藤井 立子	石井由紀子	山下 周吾	桑野 和夫	沖原 有美	井上 邦男 (議長)	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	竹本 幸久	佐藤 正人	横山 達士	
承認第10号	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議案第45号	下水道事業の設置等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第46号	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第47号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第48号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第49号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第50号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第51号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第52号	市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第53号	給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第54号	消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第55号	令和元年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第56号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第57号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決	
認定第11号	平成30年度井笠地区農業共済事務組合歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	適任	
請願第4号	種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	不採択	

※議長は採決に加わりません。

委員会レポート

総務文教常任委員会

○8月9日

10月から始まる幼児教育、保育の無償化に伴い、3歳からの幼児教育希望者が増える予想される。

子ども・子育て支援に関する保護者アンケートの結果では、3年保育の希望者が最も多かった。そのため、対家人数が最も多く公立の受け入れ施設がない金光地域(金光幼稚園)で3年保育を実施する。

また、現在ある公立幼稚園の通園区域を廃止し、希望の園に入園可能にするとの報告を受けました。

民生常任委員会

○8月7日

県外医療機関における子ども(乳幼児)の予防接種費用の助成について、対象者及び助成額、申請方法等の説明を受けました。

要綱は令和元年7月4日に施行されたが、平成31年4月1日にさかのぼって適用されることとした。

産業建設常任委員会

○8月8日

請願第4号種子法廃止に伴い、岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書について、慎重に審査する必要があるため継続審査とすることに決定しました。

一般質問 市政を問う!

9月定例会では、8人の議員が一般質問で市政を質しました。

	質問者	質問項目	ページ
代表質問	浅口朋進会 中西美治	○浅口工業団地2期整備事業に関して	7
	日本共産党 浅口市議員団 桑野和夫	○放課後児童クラブ（学童保育）の指導員について ○小中一貫教育について ○教職員の働き方改革について ○幼児教育・保育の無償化について	7
個人質問	香取良勝	○職員の不祥事について ○笠岡放送について	8
	山下周吾	○浅口市コミュニティ・スクールについて ○市内公衆無線LANについて	8
	佐藤正人	○浅口市の児童虐待防止について ○金光地区での桜まつりに代わるイベントは	9
	藤井立子	○空き家対策について ○金光駅周辺整備事業について ○協議会型住民自治組織の形成と「協働のまちづくり」について	9
	石井由紀子	○浅口ふれあい号の更なる活用について ○浅口市に住む子どもの虫歯について	10
	冲原有美	○障がいのある高校生の医療費助成について ○ごみ問題について	10



浅口市議会

検索

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の12月定例会は、11月26日に開会予定です。

会議の日程は、11月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。

傍聴へお越しください
(本庁舎3階)



浅口朋進会
中西 美治

質問項目

- 浅口工業団地2期整備事業に関して

浅口工業団地2期整備事業に関して

問 ここ数年の企業立地に関する引き合いは何件か。また今後の見通しは。

答 平成27年以降、これから建設される企業も含め8社。用地に関する問い合わせは平成28年13件、平成29年12件、平成30年10件。今後の見通しは広域交通網の利便性から立地を検討する企業が多い。県の企業誘致担当課へも問い合わせがあることから、引き合いは続くものと考えている。

問 現時点の測量、調査、設計の進捗状況は。

答 平成30年9月より測量に着手し、地形測量は終了。今後用地測量を行う。地質調査は約6割の段階で、現在は造成関連の設計を行っている。

問 2期整備計画では、開発面積約15ha、総額27億円、財源は財政調整基金を取り崩すと聞いているが、変更はあるか。

答 設計や用地交渉を継続している段階で変更はない。今後、用地交渉を行っていく中で面積や事業費に変更が生じる可能性がある。

問 許認可手続き終了から造成工事完了まで4〜5年かかる。投資対効果の面からはリスクが大きすぎる。許認可手続きや造成工事などスケジュールの前倒しはできないか。

答 認可手続きは図面ができてから開始するため、早くても令和2年度初めになる。できるだけ手続きは並行して行い、期間の短縮を図りたい。造成工事もA地区の3倍の面積となることから相応の時間が必要となる。用地の確保、許認可の見通し、公募が課題となる。



日本共産党
浅口市議員団
桑野 和夫

質問項目

- 放課後児童クラブ(学童保育)の指導員について
- 小中一貫教育について
- 教職員の働き方改革について

放課後児童クラブ(学童保育)の指導員について

問 放課後児童クラブの指導員の労働条件を改善、2名体制を堅持し、子どもたちの命と安全安心が保障される学童保育を。

答 これまでも対象経費の拡大による補助金の拡充や、支援員の処遇、施設環境の改善等に努めてきた。今後も児童クラブの安定した運営体制の確保、安心安全な居場所の確保に努めていく。

小中一貫教育について

問 令和3年度実施を目指している小中一貫教育について、教職員との協議、PTAへの説明はどうされるのか。

答 これまでも6年間小中連携教育を進めてきた。教職員を対象にした推進委員会で学力向上、生活習慣の改善などに取り組んでいる。現場の先生の意見を吸い上げ「浅口未来プロジェクト通信」で全ての学校の先生へ周知。

また地域や保護者の方にもお知らせしていく。
問 児童数の少ない学校の統廃合を進めるための取り組みではないのか。

答 先行しているコミュニティ・スクールの推進事業とともに研究し、家庭や地域の理解を得ながら実践していくことが明確に示されている。統合ありきで進めるものではない。

教職員の働き方改革について

問 教職員の働き方改革に向けた浅口市の対応は。

答 生産性の向上による教育の質の向上を目標に、市全体で目指す方向を共有し、働き方に対する意識改革を進める。また、働き方改革モデル校であった鴨方東小学校を参考に市内全ての学校に広げていく取り組みをしている。



香取 良勝

質問項目

- 職員の不祥事について
- 笠岡放送について

職員の不祥事について

問 浅口市の職員の不祥事について詳細な説明を求める。

答 教育委員会事務職員による窃取事件が発覚し、職員を免職とした。告訴は見合わせていたが、同一人物による事件性のある案件が浮上したため、今回の窃取事件を告訴。他の事案についても告訴を視野に入れ調査することとした。

問 他の事例と照らし合わせてみても免職は厳しすぎるのではないか。前にも似たような事件があったがどうなっているか。

答 平成27年の窃盗事件は、犯人の特定に至っておらず、引き続き警察の調査となっている。今回の事案については、本人が窃取を認めており、懲戒審査会が、総合的に考えて任命権者に意見し、任命権者である教育長が懲戒処分を決定した。

問 懲戒免職と告訴を取り下げる考えはないか。

答 犯した罪に反省を促していくことも大事ですが、懲戒審査会の基準は公務員が自らを律するために作ったもの。別な理由に左右されてはならないと考えている。

笠岡放送について

問 笠岡放送は公平性が保たれていない。金光地区の放送が少なくメリットがないのでは。

答 契約に「市内全域同時に同一番組及び情報を放送する」とあるが違反無く放送されていると認識している。

一定の時間の中で笠岡市・里庄町・浅口市の放送をしているため、時間が少なくなつたのは否めない。インターネット環境の整備、同一情報の提供等に加えて、財政的にもメリットがあった。公平性・平等性については再度要望していく。



山下 周吾

質問項目

- 浅口市コミュニティ・スクールについて

浅口市コミュニティ・スクールについて

問 浅口市が考えているコミュニティ・スクールの現在の状況及び来年度以降の計画は。

答 学校・家庭・地域の3者が集まり、知恵を出し合う話し合いの場を設定し、学校運営について協議・承認を行う学校運営協議会制度を取り入れた学校のことをコミュニティ・スクールという。浅口市では平成29年度に鴨方東小学校をモデル校としてスタートした。今年度は鴨方地区の小中学校に導入されており、令和2年度には市内全域で完了する予定。

問 すでに取り組んでいる小学校へのアドバイスや支援はどのようにしてきたか。今後の対応は。

答 制度の導入に当たっては岡山大学教授に指導を仰ぎ、教員の研修や先進地視察を行ってきた。また、先行導入した鴨方東小学校の教員をコミュニティ・スクールコーディネーターに任

命し、各学校の校内研修や熟議のサポートをしている。今後もコミュニティ・スクールの活性化に向け、情報共有や研修機会の確保など必要な支援をしていきたい。

問 地域との協働と説明にあるが、その地域とは何か。

答 地域とは学校区ごとの地域住民の皆さんのこと。協働して学校を運営することで地域住民のつながりが深まる。コミュニティ・スクールとは地域と共にある学校作りを進めるもの。

問 市役所の地域創造課と教育委員会との連携こそ協働ではないか。特に小学校は避難場所にも指定されており、防災の拠点でもある。地域コミュニティの回覧板を利用して小学校からの要望など情報共有しては。

答 スクール・コミュニティという用語があるが、学校を核とした地域づくりを目指していく。学校・地域・行政がしっかりと連携し、子どもたちを育てながら地域創生にもつなげていきたい。



佐藤 正人

質問項目

- 浅口市の児童虐待防止について
- 金光地区での桜まつりに代わるイベントは

浅口市の児童虐待防止について

問 浅口市の現在の実態及び取り組みは。

答 令和元年8月末現在、要保護児童としての把握は48件。そのうち心理的虐待24件、身体的虐待13件、ネグレクト9件、複数の種別による虐待が2件となっている。

児童虐待への対応は、虐待の通報があったとき、児童の生命に危険があるかどうか、安否の確認。児童を分離する必要がある場合、児童相談所と連携して一時保護を行う。分離の必要がない場合にも、学校や児童相談所等と情報共有を行い、ケースに応じた支援を適切に行っている。

問 本年6月国会で成立した「改正児童虐待防止法」の内容は。

答 令和2年4月より適用される。改正点は、体罰禁止の明文化・介入機能の強化・児童相談所の職員の増強・守秘義務を課す・DVの対応機関との連携を図る・切れ目のない情報の共有

などである。

問 今後の体制強化策は。

答 児童虐待件数は増加傾向にあり、内容も深刻化している。児童虐待防止のさらなる早期発見、早期対応等関係機関と密接に連携していく。9月より家庭児童相談員を1名増加し2名体制で対応する。子育て包括支援センターは令和2年度をめどに開設に向けて準備している。児童虐待防止条例は今年度中の制定に向けて準備する。

金光地区での桜まつりに代わるイベントは

問 金光地区での桜まつりが今年で終了すると聞いているが、それに代わる何かイベントの計画はあるのか。

答 桜まつりは商工会金光支所が所管していた事業。駐車場の確保に支障があり中止すると聞いている。商工会の動向が基本になるが市として支援はしていく。



藤井 立子

質問項目

- 空き家対策について
- 金光駅周辺整備事業について

空き家対策について

問 空き家対策補助事業はどのようなものがあり、昨年度の実績は。

答 空き家除却補助や利活用補助、また補助事業以外で空き家等緊急安全措置事業がある。空き家の除却補助は7件、利活用補助では4件実施。緊急安全措置として1件対応した。

問 空き家情報バンクの実績は。

答 空き家情報バンクとは、市が岡山県宅地建物取引業協会と岡山県不動産協会と連携して運用しているもので、実績として令和元年8月末現在で累計66件の物件を登録。そのうち48件が成約にいたっており、成約率は73%で105人が定住した。

問 空き家を活用した新規創業を支援する補助制度を創設してみてはどうか。

答 市にはそのような補助制度はないが、県内で空き家を活用して新しく事業を始める方を対象にした補助制度がある。先行事

例の情報を収集し、研究していく。

金光駅周辺整備事業について

問 金光駅南口工事の進捗状況と整備計画の概要は。

答 J R山陽本線と里見川の間約3100平方メートルの範囲を整備し、待合所やロータリー道路の中に一般車・タクシー・コミュニティバス乗降場を配置する計画。昨年の豪雨の影響で工程が遅れたが、来年秋には供用開始する予定。

問 里見川南堤防上の市道（金光六条院線の墓地付近）の整備概要と今後の予定は。

答 用地取得と墓石等の物件移転は完了。前後の道路幅員を踏まえて5.5m幅員で改修する。

問 金光駅北口整備を含めた工事全体の完成はいつになるか。

答 今後、北口までの工事が順調に進むように工程管理を行い、令和2年度末に完成予定。



石井由紀子

質問項目

- 浅口ふれあい号の更なる活用について
- 浅口市に住む子どもの虫歯について

浅口ふれあい号の更なる活用について

問 各路線が週3回の運行になった後の利用人数の状況は。

答 増便後、各路線の集計を行った。どの路線も1月から7月まで前年比で最低12%から最大54%の乗車率の増加が見られた。

問 バス利用者の多い路線とその区間はどこか。

答 平成30年度では延べ乗車人数が多い順で、寄島西線・寄島東線・鴨方西線。区間について現在のシステムでは集計が難しい。

問 「ふれあい号は自分で降り降りでき、交通手段のない方が利用していただきたい」ということを言っていた。無料なので対象は市民全員と考えるが誰もが利用できるバス事業ではないのか。

答 何年も同じ運行方法で増便を続けていくのか。今後の見通しは。

答 市民の足として利用していただきたいという姿勢は変わらない。

い。新たにステップ付きのふれあい号の購入をするなど、これからもスピード感を持って順次改良していく。

浅口市に住む子どもの虫歯について

問 近隣市町で2年連続最下位ですが、現在の状況は。

答 併せて、予防の啓発活動は。昨年度3歳児の虫歯率は20%。

問 ここ数年の統計を見ると徐々に改善している。口腔ケアを怠ると様々な病気になりやすいといったデータがある。

答 啓発活動については、保護者アンケート調査に基づいて作成されたリーフレットや、啓発チラシ、乳児用歯ブラシの配布を行っている。

年代にあった口腔ケアを含めた施策を行っていく。



沖原 有美

質問項目

- 障がいのある高校生の医療費助成について
- ごみ問題について

障がいのある高校生の医療費助成について

問 障がいのある高校生の医療費助成制度はあるか。

答 高校生限定ではないが、岡山県の心身障害者医療費給付制度がある。自己負担分が1割で済むよう助成し、経済的負担の軽減を図る制度。さらに所得に応じて一部負担限度額が設けられており、超えた額は市から補助され、現在約400人が利用している。

問 重度の方だけでなく、障がいのあるすべての高校生の医療費を無料にしては。

答 現在のところ無料化の実施予定はない。市では一部負担限度額を県より低く設定し、重度障がいがある低所得の方に手厚い支援を行っているので、この制度を活用していただきたい。

ごみ問題について

問 レジ袋の削減にどう対応しているか。

答 第2次一般廃棄物処理基本計画を策定し、レジ袋有料化の検討や買い物袋持参の取り組みを盛り込んだ。エコバッグやティッシュ配布での啓発やノーレジ袋デーを広報で知らせている。

問 河川に溜まったごみの清掃対応は。

答 市民や不法投棄パトロールを委託しているシルバー人材センターの情報提供により、協力して回収に努めている。

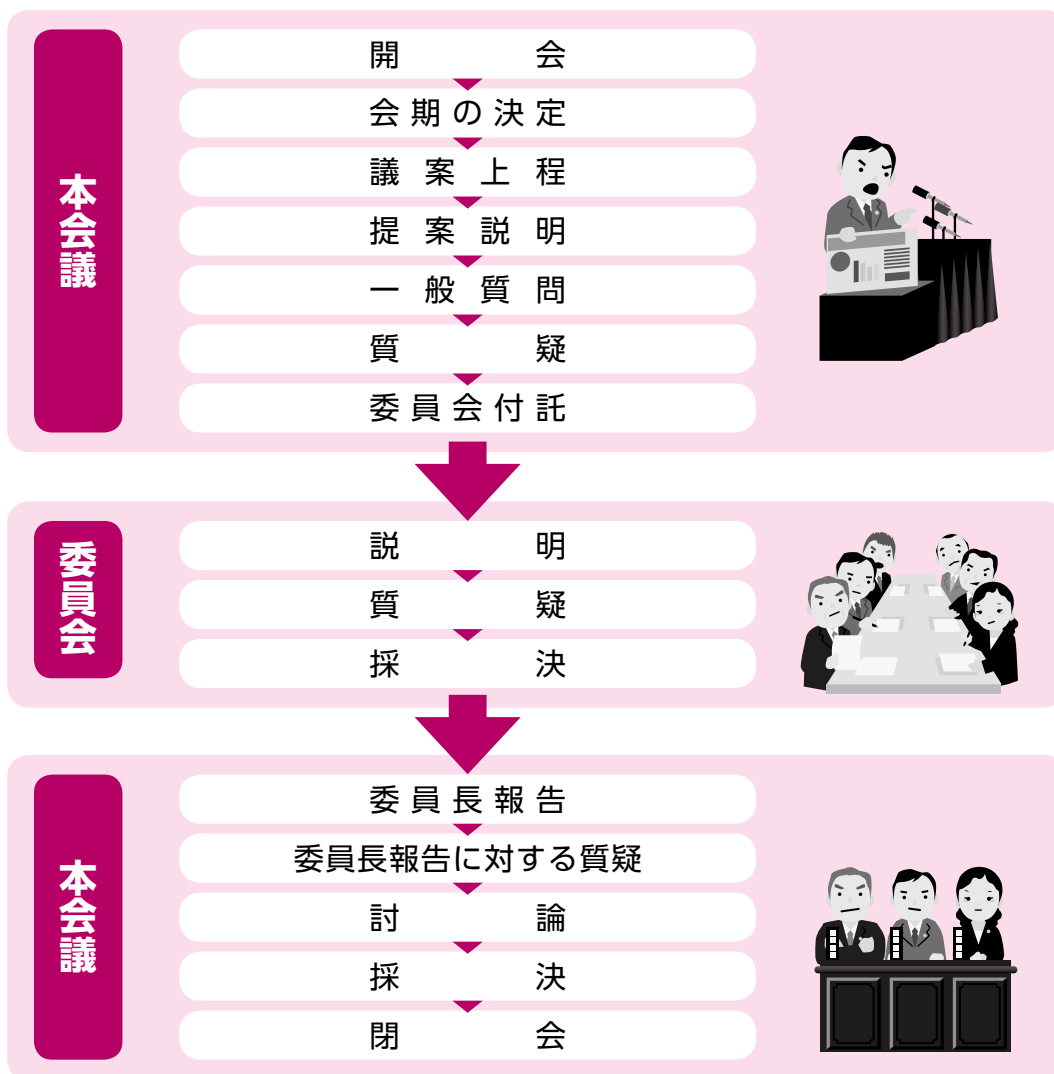
問 搬出が困難な高齢者世帯の粗大ごみ戸別収集を一般ごみでも実施しては。

答 みんなで支え合い生活支援サポーター事業の利用や地域での支援をお願いしたい。ごみ出し等が大変な高齢者の方は、地域包括支援センターにご相談ください。

会議（定例会）の流れ

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、予算や条例等の市政を進めていく上で重要な事項を審議します。

会議の流れについての概要は、次のとおりです。



**贈らない！
求めない！
受け取らない！**

寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄附行為等を行うことは禁止されています。

このため、市議会議員はお中元・お歳暮を贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に年賀状を出すことも禁止されています。

また、市民から市議会議員に対して、寄附を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

高齢者叙勲

土屋 亨さんが
旭日単光章を受章



土屋さんは、平成3年に鴨方町議会議員に初当選し、町議会議員として4期約15年間在職。産業建設委員会委員長を務めるなど、地方自治の発展にご尽力されました。

議員表彰

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会定期総会において、本市議会議員が表彰を受けました。

○議員一般表彰

青木 光朗 (在職15年以上)

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要の方は社会福祉協議会へ
☎0865-4417744

表紙写真

浅口市の夏の恒例行事、あさくち花火大会が8月24日に寄島の浅口市三ツ山スポーツ公園一帯を会場に盛大に行われました。約3000発の色鮮やかな大輪の花火が夜空に舞い、市内外から訪れた家族連れなど大勢の来場者を魅了しました。
写真の提供者は、鴨方町本庄の大岸勇人さんです。
ありがとうございます。

広報特別委員会

- 委員長 伊澤 誠
- 副委員長 佐藤正人
- 委員 沖原有美 山下周吾
- 石井由紀子 藤井立子
- 中西美治

令和元年度 浅口市議会 議会報告会

議員と市民の皆様との意見交換(グループ討議)

浅口市議会では、『浅口市議会基本条例』に基づき、「議会報告会」を開催します。本年度は講演の後に意見交換(グループ討議)を行います。お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

◆基調講演

議会に何が求められ 市民はどう関わって いけばいいのか

龍谷大学政策学部 教授
つちやま き み え
講師 土山 希美枝氏

講師略歴 1971年北海道生まれ 2000年法政大学大学院修了。2015年より現職。専門は公共政策論、地方自治、政治学。議会改革の先進地での研修実績が多数あり、市民目線の改革に腕を振るう。



入場無料
事前申込み
不要

日時 令和元年11月16日(土) 13:30~15:30

会場 浅口市健康福祉センター 2階 研修室



議会だよりは再生紙を使用しています

